

観峰書道

習字手本付録

Kampo School of
Calligraphy

発行日 2010年8月
 発行者 原田由利
 発行所 観峰文化センター
 住所 〒606-8334
 京都市左京区岡崎
 南御所町 40-20

© 原田詳経 無断転載を禁ず

筆者

原田 観峰

1911~1995

正しい文字美しい文字愛の習字の父
 ・正統書法を伝える書道教範の筆者
 ・美しい心と伝統の妙技伝承者



KAMPO

書塾出版

www.kampo.co.jp

〔漢詩の知識〕

文章には、漢字で書かれた漢文、かな文字、漢字とかな文字を交えたものがあります。漢文は、漢時代のすぐれた文章を手本としたことから漢文といわれています。書道でも楷行草の三書体がともに漢時代の隷書を源流としていることから漢字といわれています。

文章は、韻文と散文に分類することができます。韻文である漢詩は中国文学の華といわれ、書道の作品でも古くからよく唐時代の李白、杜甫、白居易などの古典詩が題材として用いられ、我が国でも儒教や仏教文化とともに唐の文学を積極的に受容し、日本の書道文化を発展させてきました。

〔絶句と律詩〕

漢詩は、主に「絶句」と「律詩」に分けることができます。

絶句は、四行詩のことで、漢詩では行のことを「句」といっているので、絶句一編は四句からできているということになります。

「絶句」はさらに二通りに分けられ、一行が五字のものと、七字のものがあります。そして一編全体が四行二十字でできているものを「五言絶句」といい、四行二十八字でできているものを「七言絶句」といっています。

「律詩」とは八行詩のことで、絶句の倍の行数で、一編が八行からできているものです。

この律詩もまた二通りに分けられ、一句の字数が五字のもので、一編が四十字でできている「五言律詩」と、一句が七字で、一編が五十六字でできている「七言律詩」があります。

五言絶句

○ ○ ○ ○ ○ (第1句)
 ○ ○ ○ ○ ○ (第2句)
 ○ ○ ○ ○ ○ (第3句)
 ○ ○ ○ ○ ○ (第4句)

五言律詩

○ ○ ○ ○ ○ (第1句)
 ○ ○ ○ ○ ○ (第2句)
 ○ ○ ○ ○ ○ (第3句)
 ○ ○ ○ ○ ○ (第4句)

七言絶句

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第5句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第6句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第7句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第8句)

七言律詩

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第1句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第2句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第3句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第4句)

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第1句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第2句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第3句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第4句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第5句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第6句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第7句)
 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (第8句)